

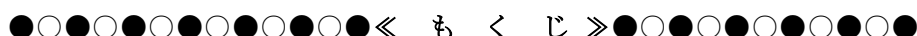
一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.245



発行日 2023年8月3日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 小松川 浩
〒162-0801
東京都新宿区山吹町 358 番地 5
アカデミーセンター
URL <https://www.jsise.org>
E-MAIL secretariat@jsise.org



第 48 回 JSiSE 全国大会のご案内・・・2	支部活動報告・・・18
編集委員会全国大会プレカンファレンス	関東支部, 東海支部
講演募集・開催案内・・・5	研究会報告年間購読案内・・・20
産学連携委員会全国大会プレカンファレンス	広報からのお知らせ・・・21
開催案内・・・6	他団体 協賛・後援イベントのお知らせ・・・22
全国大会現地企画シンポジウム開催案内・・・7	国際会議のご案内・・・23
科研費申請支援制度のご案内・・・8	会費納入のお願い・・・24
合同英文誌 ITEL 論文募集・・・10	事務局より・・・26
研究会開催年間スケジュール・・・11	会員専用ページの案内,
第3回研究会開催案内・・・12	入会のご案内,
第2回研究会開催報告・・・14	新入会員のご紹介
「ラーニングイノベーショングランプリ 2023」審査結果発表・・・15	





第 48 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ：XR がもたらす学びの場と新しい学習・教育の可能性

<https://taikai2023.jsise.org/>

- 開催日時： 2023 年 8 月 29 日(火) ～ 8 月 31 日(木)
- 会 場： 近畿大学 東大阪キャンパス / オンライン（ハイブリッド開催）＊変更の可能性あり
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 全国大会の実施方法について

第 48 回全国大会は、昨年同様、対面・オンラインのハイブリッドで実施できるように調整を進めております。詳細な実施方法につきましては、決まり次第アナウンスいたします。

なお、今後のコロナウイルスの感染拡大に応じて、すべてオンラインに変更する可能性もありますのでご注意ください。

■ 大会日程（予定）＊大会日程は変更される可能性があります。

8 月 29 日（火）	
9:00～11:50	プレカンファレンス
11:50～13:00	昼休み
13:00～13:10	オープニング（開催校挨拶）
13:10～14:10	基調講演（会長）
14:30～15:55	一般・企画セッション(1)
16:10～17:20	インタラクティブセッション(1)
8 月 30 日（水）	
9:00～10:25	一般・企画セッション(2)
10:40～12:05	一般・企画セッション(3)
12:05～13:10	昼休み
13:10～13:30	各種表彰
13:40～15:40	メインイベント
16:00～17:10	インタラクティブセッション(2)・学生研究特別セッション
19:00～21:00	懇親会

8月31日(木)	
9:00～10:25	一般・企画セッション(4)
10:40～12:05	一般・企画セッション(5)
12:05～13:15	昼休み
13:15～14:40	一般・企画セッション(6)
14:55～15:10	クロージング
15:20～17:20	現地企画

(*)インタラクティブセッション・学生研究特別セッションは対面のみで実施する予定です。

■ 大会参加費

事前参加申込	後期・当日参加申込
一般会員： 7,500 円 学生会員： 3,200 円 非会員（学生以外）： 10,800 円 非会員（学生）： 5,400 円 論文掲載料： 1,000 円（論文一編につき）	一般会員： 8,500 円 学生会員： 4,000 円 非会員（学生以外）： 12,000 円 非会員（学生）： 6,500 円
※全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	

ハイブリット開催に伴い、第48回大会の事前参加申込以降の申込は後期・当日参加申込の金額が適用されます。後期・当日参加申込はクレジットカードのみ対応しますのでご注意ください。

Web 論文集公開日との兼ね合いによりお支払い後のキャンセルは8月20日(日)までとなりますのでご了承ください。(8月21日(月)以降に新規お申し込みされた場合は返金には応じられません。)

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンスの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ 基調講演（8月29日（火）13:10～14:10）

「学びの社会実装」

小松川 浩（公立千歳科学技術大学）

○ メインイベント（8月30日（水）13:40～15:40）

「XR により生み出される新たな教育・学習の価値とその普及」

登壇者：

加藤 直人（クラスター株式会社）

植田 達郎（フィール・フィジックス）

鳴海 拓志（東京大学 Cyber Interface Lab）

○ プレカンファレンス（8月29日（火）9:00～11:50）

PC1 ノーコードで開発するスマホ用デジタル教科書アプリのハンズオン

PC2 学生期から学び続ける楽しさを覚えよう

PC3 Moodle の機能拡張と活用実践

PC4 学習支援研究における生成系 AI の位置づけを探るーまずは学習課題を解かせるための前処理の観点からー

PC5 我々の教育システム情報学マップ：問いの体系化の共有に向けて

PC6 反転が生み出す論文執筆のブレークスルーー ディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

PC7 エージェンシー育成のための社会情動的スキルワークショップ

PC8 高大接続におけるメタバースの可能性

○ 企画セッション（8月29日（火）14:30～15:55, 8月30日（水）9:00～10:25, 10:40～12:05

8月31日（木）9:00～10:25, 10:40～12:05, 13:15～14:40）……………（28件）

1. エージェンシー育成のための社会情動的スキルに関する研究（3件）

2. 教育 DX を支える LA（Learning Analytics）の多面的検討（4件）

3. 学習体験における先進的学習メディアと IA（Intelligence Amplification）（9件）

4. 近未来の医療者教育（4件）

5. エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援（4件）

6. 教育 DX と実世界指向学習環境（4件）

○ 学生研究特別セッション（インタラクティブ（ポスター・デモ）発表）……………（15件）

○ 一般セッション（インタラクティブ（ポスター・デモ）発表）……………（26件）

○ 一般セッション（口頭発表）……………（95件）

1. プラットフォーム活用（4件）

8. 情報技術教育（8件）

2. 先進的学習支援（18件）

9. 情報リテラシー（4件）

3. 先進的学習支援・分析技術（3件）

10. マルチメディア活用（4件）

4. ユーザーインターフェース（8件）

11. 語学教育（6件）

5. 学習者特性・行動分析（8件）

12. 初等中等・教科教育（4件）

6. 授業設計・インストラクショナルデザイン（7件）

13. 技術開発・運用（6件）

14. 教育・学習手法（3件）

7. プログラミング教育（8件）

15. スキル学習（4件）

○ 現地企画（8月31日（木）15:20～17:20）

「esports と／の教育」

■ 講演論文集について

第45回大会より CD-ROM での配布を廃止し、Web による配布のみとしております。Web 版の講演論文集は、2023 年 8 月 21 日(月)に大会参加者のみに公開され、2024 年 3 月 1 日(金)に一般公開されます。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : jsise-desk@conf.bunken.co.jp (@を半角に変更してください)



全国大会プレカンファレンス 反転が生み出す論文投稿のブレークスルー ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

担当者： 学会誌編集委員会

開催日時： 2023年8月29日(火) 大会1日目 9:00～11:50

オーガナイザ： 瀬田和久(大阪公立大学), 村上正行(大阪大学), 後藤田中(香川大学),
田中孝治(金沢工業大学), 高木正則(電気通信大学),
山崎治(千葉工業大学), 近藤伸彦(東京都立大学), 山元翔(近畿大学)

申込締め切り： 2023年8月4日(金)

論文の投稿や査読について、お悩みや不安、疑問はないでしょうか？本学会の論文カテゴリは「一般論文」、「実践論文」、「ショートノート」、「実践速報」の4つです。たとえば、「論文を投稿したいがカテゴリの違いが判然としにくい」、「実践論文が満たさなければならない基準って何だろう?」、「研究を進める上でのポイント・ヒントを知りたい」、「査読における考え方を整理したい」など、投稿や査読に関するあらゆるお悩み・不安について、編集委員と参加者が知恵を出し合う対話を通して論文投稿のブレークスルーを見出します。

本セッションは、「論文執筆チュートリアル」、「論文投稿ファシリテーション」の2部構成です。セッション前半では、改訂された執筆要領や査読票のテンプレート等も意識しながら、特集号に向けて上手く閲読をうけるために、特集論文研究会の活用方法をご紹介します。

後半では、これまでもご好評いただいている、論文投稿に関わる相談会を、対面の相談・議論に臨む“反転 + ディスカッション”ベースで実施いたします。本年度も、相談会の開催はオンライン開催となります。また、論文執筆に関わるチュートリアルのコンテンツをプレカンファレンスの開催に先駆けて事前に視聴いただき、発表スライドを作成いただきます。投稿を予定しておられるなど、ご相談を希望される方(Advisee)の手順は下記の通りです。ご応募お待ちしております。

1. 【事前】 次の URL から応募ください (<https://forms.gle/NMqa5Z7d5LFopX1U7>)
2. 【事前】 締め切り後にお知らせするチュートリアルを閲覧
3. 【当日】 投稿予定の研究や執筆上の懸案を発表
4. 【事後】 論文投稿 (可能であれば)

※ 希望者多数の場合は学会誌編集委員会で選定します。選定後、相談の参考にさせていただくため、事前に発表スライド等の資料の提出をお願いしております。なお、当日現地大会よりご参加いただく方も、Zoom を用いてご参加いただきます。

問い合わせ先： 後藤田中(香川大学) gotoda.naka@kagawa-u.ac.jp



第 48 回全国大会プレカンファレンス 「学生期から学び続ける楽しみを覚えよう」参加募集

担当者： 産学連携委員会 委員長 長谷川 忍

第 48 回教育システム情報学会全国大会においてプレカンファレンス企画「学生期から学び続ける楽しみを覚えよう」を開催いたします。学生期は本学会の取り扱う分野ではなかった方で社会人になったときに本学会と関係のある分野で仕事をなさっている方や、リカレント・リスキリングに関係している方をお招きして、学びの回顧や学び直しの魅力、あるいは学びの環境を語っていただくと同時に、いま学生期に学びのどこに気づいてほしいかを語っていただきます。学会員の皆様にとっては、今取り組まれているご自身の研究がどのように社会還元可能か、あるいは生涯学び続けることの楽しさを改めて考え感じる機会になることが期待されます。プレカンファレンスは大会参加者以外の方にもご参加いただけますので、ぜひこの機会にご参加ください。

また、本企画は、産学連携委員会および人材育成委員会を母体とし、学生諸氏やご参加の皆様とビジネス界との橋渡しとなることを目的に含めております。その一環として、本年度のラーニングイノベーショングランプリの様子も紹介いたしますので、学術に関心の高い方も産業的な面に関心のある方も是非お楽しみください。

■ 企画の概要

PC2「学生期から学び続ける楽しみを覚えよう」

- ・日時：8月29日（火）10:00～11:50
- ・場所：ハイブリッド開催（対面会場およびオンライン会場 URL は別途学会から連絡予定）
- ・登壇予定者：（順不同）
 - 岩佐 英彦（近畿大学工業高等専門学校）
 - 山田 哲（株式会社リコー）
 - 居石 麗（株式会社NTT データ ユニバーシティ）
 - 竹内 寛典（徳島大学）
- ・オーガナイザ：産学連携委員会，人材育成委員会
（代表：松浦 健二（徳島大学），小西 達裕（静岡大学））



全国大会現地企画シンポジウム esports で/の教育を考える —「ゲームなんてやってないで勉強しなさい!」は正しいか—

担当者： 越智洋司（近畿大学）

2022 年 4 月に開学した近畿大学情報学部棟(E 館)には、特徴的な施設として「esports Arena」があります。esports Arena は、全学生が利用できる施設であり、プレイヤーとして技術・知識を身に付けるだけでなく、最新の照明・音響・配信機器を完備し、イベントの企画運営などを通じて、esports を通して様々な技術や知識を身に付けることができます。

今回のシンポジウムでは、esports Arena での取り組みの他、それぞれの現場で実際に活動を行っている登壇者による報告とディスカッションで、教育と esports はどのような関係性があるか？どのような問題を抱えているのか？といった「esports で/の教育」について考えを深める機会にしたいと思います。

8 月 31 日（金） 15：20 ～ 17：20 近畿大学情報学部棟オンデマンドサロン
（全国大会クロージング終了後の開催となります）

【登壇者予定者】

- 中島賢一(福岡 e スポーツ協会 会長，西日本電信電話株式会社 ソーシャルプロデューサー，株式会社 NTTe-Sports 取締役)
- 高倉暁大（日本図書館協会 認定司書）
- 山元翔 （近畿大学情報学部/情報学研究所/次世代基盤技術研究所 講師）
- 岡本健 （近畿大学総合社会学部/情報学研究所 准教授）（司会）

共催：近畿大学情報学研究所 ICT 教育部門，教育システム情報学会



科研費申請支援制度（2023 年度夏期）のご案内

担当者： JSiSE 人材育成委員会

教育システム情報学会では、次代を担う若手研究者の自立、研究活動の活性化を積極的に支援することを主旨として、科研費申請支援制度を実施しています。本学会の理事等を中心に、当該分野の科研費審査や獲得経験を有する複数のシニア研究者（匿名）が、提出された申請書に対して、主張点や論旨の明確化、焦点化など、審査員に上手に伝えアピールする視点から、採択に向けたコメントを書面で提供するものです。申請書評価の多様な見方に触れて頂くためにも、学会としてまとめることはせずコメントータからのコメントをそのまま提供します。これらを参考材料として申請者ご自身の判断の下で取捨選択しての申請書のブラッシュアップに役立てて頂く主旨のものです。学会およびコメント提供者は申請内容について守秘義務を負うものとします。なお学会およびコメント提供者は採択に関する責任を負うことはできませんので、予めご承知おきください。

本制度は若手研究・基盤研究（C）および研究活動スタート支援を支援対象とします。主として以下の分野を対象にしますが、JSiSE が学際的な領域を対象にしていることから、他の分野でもできるだけ柔軟にお受けしたいと考えていますので、下記問い合わせ先までご相談ください。

・夏期支援種目：

- ・若手研究
- ・基盤研究(C)（ただし、若手研究の応募資格を有する方に限る）
（研究活動スタート支援は春期の支援を予定しています。）

・分野：

- ・「大区分A」「中区分9：教育学およびその関連分野」
 - ・09070 教育工学関連
 - ・09080 科学教育関連
- ・「大区分J」「中区分62：応用情報学およびその関連分野」
 - ・62030 学習支援システム関連

・申請者は学会員であることが必要です。

スケジュールは以下の通りです。ご所属機関により提出時期が異なることを踏まえ、提出期間に幅を持たせています。

○エントリー

若手研究および基盤研究（C）：8月1日より

下記提出先まで電子メールにて、 代表者氏名(所属)・タイトル・応募種目・分野(大区分, 小区分)をお知らせください.

サブジェクトは「JSiSE 科研費申請支援」を含む文字列でお願いします.

※エントリーがなくても申請は随時受付いたしますが, 事前にエントリー頂ければコメンテータに書類を迅速にお送りできますので, 結果の返送も早くなります.

○申請書提出

若手研究および基盤研究 (C): 8 月上旬 ~ 申請者所属機関の申請書類締め切りの 2 週間前まで
申請書のファイル (MS-Word または PDF 形式) を下記提出先までお送りください (予算明細などの詳細まで埋めていただく必要はありませんが, よりよいコメントを提供するために, ある程度内容が固まってからご提出いただくのが望ましいと思われます). 提出いただき次第, コメンテータに申請書を送付します.

○コメントのお返し

【各コメンテータから提出があり次第, 随時コメントをお返します.】

事前エントリーがあった場合申請書提出から 1 週間前後, ない場合 10 日前後の返信を予定しておりますが, 事情により遅れる可能性もございますので余裕をもってお申込みください.

エントリー, 申請書提出およびお問い合わせ先

JSiSE 人材育成委員会 (jsise-y-support@googlegroups.com)



Information and Technology in Education and Learning (ITEL) 論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL（Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>）への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/-char/ja>)。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）, 実践論文（Practice Paper, 基本 8 ページ）, システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）, ショート論文（Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで）
<これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - 査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります（著者照会は 1 回のみ）。
 - 評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
 - 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



2023 年度研究会開催スケジュール

担当者： 研究会委員会

2023 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ (https://www.jsise.org/society_research/) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 1 回	DX 時代に向けた学習環境 の变革・リスキリング／ ヘルスケア分野の DX 人材 育成／一般	終了	早稲田大学 早稲 田キャンパス（現 地，またはハイブ リッド）	終了	終了
第 2 回	ICT を活用した学習支援 と教育の質保証／一般	終了	北星学園大学	終了	終了
第 3 回	先進的演習・実習支援環 境／一般	9 月 30 日（土）	静岡大学浜松キャンパス	2023 年 8 月 10 日（木）	2023 年 8 月 31 日（木）
第 4 回	多様なスキルの開発を支 える学習デザインとその 支援技術／一般	11 月 11 日（土）【変更 の可能性あり】	関西大学	2023 年 9 月 21 日（木）	2023 年 10 月 11 日（木）
第 5 回	教育 DX と実世界指向学習 環境／一般	2024 年 1 月中を予定	拓殖大学（文京キャンパス）	未定	未定
第 6 回	実社会や他校種との接続 を意識したデータサイエ ンス教育／一般	2024 年 3 月中を予定	山口大学（ハイブリッド）【オン ラインに変更の可能性あり】	未定	未定
特集	未定	2024 年 3 月中を予定	山口大学（ハイブリッド）【オン ラインに変更の可能性あり】	未定	未定

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



2023 年度 第 3 回研究会 開催案内

担当者： 小西 達裕 (静岡大学), 安間 文彦 (サイバー大学), 三好 康夫 (高知大学)

■テーマ：

先進的演習・実習支援環境／一般

■開催日時：

2023 年 9 月 30 日 (土)

■開催場所：

静岡大学 浜松キャンパス 共通講義棟 1F (共 11 教室)

静岡県浜松市中区城北 3-5-1 静岡大学情報学部

アクセス

JR 浜松駅より遠鉄バスにて約 20 分 「静岡大学」下車すぐ

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/access/index.html>

※本研究会は対面のみの実施です。

■発表申込締切：2023 年 8 月 10 日 (木)

■原稿提出締切：2023 年 8 月 31 日 (木)

■趣旨：

先進的情報技術を演習・実習に活用する試みは古くから行われてきましたが、近年特に高機能な ICT デバイスの普及や機能向上・学習教育活動を通じて取得できるデータの多様化・AI を含むデータ分析活用技術の発展によるラーニングアナリティクスの進化・VR/AR/メタバースなど全く新しい学習環境の導入・コロナウィルス流行を契機とするオンライン/ハイブリッド演習・実習の機会の拡大など、演習・実習をとりまく状況は急速に変わりつつあり、さまざまな先進的かつ実践的な取り組みが行われるようになっていきます。

このような状況を踏まえて、本研究会では特に先進的演習・実習支援に焦点を当て、関連する研究発表を広く募集いたします。また講義中心の授業であっても、双方向型学習やアクティブラーニング、ワークショップにおけるグループワークなどの活動を含むものの支援については広義の演習・実習支援と捉えて募集対象に含めることとします。システム開発やコンテンツ作成をはじめ、教育実践や教材評価、カリキュラム設計、学習科学など、教育やシステムに関連した幅広い分野からの発表も歓迎いたします。

どうぞ奮ってご発表・ご参加下さい。

■発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）です。

■発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には，研究報告の年間購読（4,000 円／年）または各回の研究報告の購入（1,000 円／回）が必要となります。ただし，聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

○発表者

発表申込および原稿提出は，Web サイトの「申込者ログイン」よりお願いします。

また，事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 9 月 1 日 9 時に開始します。

開始時刻以降に，「申込者ログイン」から手続きしてください。

○聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は，「申込者ログイン」での手続きは行わず，下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 9 月 1 日 9 時に開始します。

開始時刻以降に，Web サイトの「申込者ログイン」から手続きしてください。

クレジットカード払いであれば当日まで事前参加申込が可能です。それ以外の支払い方法は 9 月 23 日まで選ぶことができますが，支払期間内に入金しないと参加申込が確定となりません。支払期間は完了通知メールに記載されますので，必ずご確認をお願いいたします。

○現地での参加申込

当日の受付での参加申込は行いません。参加を予定している方は必ず事前参加申込を行ってください。

クレジットカード払いの場合は，当日の事前参加申込も可能です。

■ 研究報告執筆フォーマット：

原稿の執筆・投稿にあたっては，以下のページをご確認ください。

- ・研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/format.pdf>
- ・研究報告見本：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.pdf>
- ・研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.docx>
- ・講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■お問い合わせ先：

小西達裕（静岡大学情報学部）

E-mail：konishi[at]inf.shizuoka.ac.jp（[at]の部分を半角の「@」に変えて下さい。）



2023 年度 第 2 回研究会開催報告

担当者： 不破 泰（信州大），小松川 浩（公立千歳科学技術大），布施 泉（北海道大），
金子大輔（北星学園大），野崎 浩成（愛知教育大）

2023 年度第 2 回研究会は、北星学園大学（北海道札幌市）を会場校として、7 月 15 日（土）に開催されました。北星学園大学での第 2 回研究会開催は、昨年度に引き続き、2 年連続となりますが、本年度も、とても素晴らしい環境で研究会を開催することができました。特に、7 月の暑い時期に、猛暑の本州を離れ、冷涼な北海道に伺えたのはとても幸せな気分になりました。

最初に、研究会の冒頭、小松川 浩 新会長にご挨拶を頂きました。研究会は、午前中に 4 セッション、午後に 4 セッション、合計 8 セッション、全部で、24 件の研究発表がありました。57 名の参加者を迎え、発表後には活発な質疑がなされました。発表時間は 17 分間、質疑は 7 分間でしたが、質疑の時間が足りない場合が多く、セッション終了後に、改めて、発表者と参加者が活発な議論をされている様子が多くみられました。本年度の特徴として、昨年度との大きな違いは、生成 AI に関連する研究発表が増えたことでした。研究会終了後に開催された情報交換会にも、30 名以上の皆さんにご参加いただき、北海道のおいしい食事を頂きながら、有意義な意見交換を行うことができました。

研究発表のタイトル、発表者名などの詳細は、本学会の Web サイト第 2 回研究会
https://www.jsise.org/research_society/2023_cfp_2nd/ をご参照下さい。

最後になりましたが、研究会優秀賞候補者を選定するにあたり、審査委員をお願いした先生方には、多大なるご協力を頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。



図 1 研究会当日の会場の様子

（非常に多くの皆様にご参加いただいている様子がよく分かります）



「ラーニングイノベーショングランプリ 2023」審査結果発表

担当者： 産学連携委員会 委員長 長谷川 忍

JSiSE が共催しているラーニングイノベーショングランプリ 2023 (LIGP2023) について、二次審査（最終審査）が行われ、7月10日に審査結果が発表されました。審査結果は、以下の通りとなりました。

■最優秀ラーニングイノベーション賞（ジンジャーアップ賞）

・力触覚フィードバックと VR 技術を利用した医療トレーニングシステム
神戸大学：殷・熊本研究室

■優秀ラーニングイノベーション賞

・深層学習と項目反応理論を用いた難易度調整可能な読解問題自動生成
電気通信大学：宇都研究室 問題生成グループ
・AI アバターに ChatGPT を活用した VR 外国語会話学習システムの開発
関西外国語大学：外国語学習研究室

■奨励賞

・中山間過疎地域における小規模校のための研究授業レビュー支援システム
高知大学：理工学部 情報科学科 岡本研究室
・MR 環境における文字入力システムの創出
和歌山大学：インタラクシオンデザイン研究室

■特別賞：日本 Moodle イノベーション賞（提供：Moodle Pty Ltd/株式会社イーラーニング）

・オンライン・ジャーナルクラブと AI ツールを用いた教育研究リテラシーの育成
豊橋技術科学大学：ResearchIC.com

■特別賞：サイコム フロンティアテクノロジー賞（提供：サイコム・ブレインズ株式会社）

・画像生成による誤答の示唆性を活用した語彙学習支援システム
北陸先端科学技術大学院大学：JAIST 長谷川研究室第二言語習得支援チーム

■特別賞：UMU ラーニングテクノロジー賞（提供：ユームテクノロジージャパン株式会社）

・深層学習と項目反応理論を用いた難易度調整可能な読解問題自動生成
電気通信大学：宇都研究室 問題生成グループ

3月16日に応募受付を開始し、5月22日の締切りまでに 27 件の応募がありました。これらについて、産業界の7名の審査委員が審査を行い、各賞を選定しています。二次審査は、5 分間のプレゼンテーション動画による発表で行われました。審査は、【1】産業界から見た独創性・斬新性と【2】社会的価値（a：教育・学習に与えるインパクト，b：発想スケールの大きさ，c：実用化された際の波及効果）の2つの観点からおこなわれ、審査結果に基づいた得点集計により7月10日に各賞が発表されました。その後、7月19日、東京国際フォーラムにおいて受賞者プレゼンテーション・表彰式が実施されました。

ラーニングイノベーショングランプリは、学術界での学習・教育におけるラーニングテクノロジーに関する研究成果やその芽生え期の研究を産業界が評価する、年に一度のコンペティションです。大学等の研究は、普段アカデミックな評価を受ける機会が多いのですが、本イベントでは産業界も普段目を向けていないような研究や、産業界から見て価値のある潜在的な研究も評価されます。応募対象は、高等教育機関（大学・大学院・高等専門学校等）の研究室（チーム）です。来年も開催いたしますので、皆さま奮ってご応募ください。

本グランプリの詳細及び各受賞者の応募内容は、<https://ligp.gingerapp.co.jp> をご覧ください。

【開催概要】

主催：ラーニングイノベーションコンソシアム（LIC）

共催：教育システム情報学会（JSiSE）、デジタルラーニング・コンソーシアム（DLC）

協賛：日本情報科教育学会，人工知能学会，電子情報通信学会教育工学研究会，学習分析学会，情報処理学会 CLE 研究会，日本教育工学会

運営：ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ネーミングライツスポンサー：Moodle Pty Ltd/イーラーニング，サイコム・ブレインズ，ユームテクノロジージャパン

【審査委員等】

■審査委員

綾部 貴淑 : LIC/KIYO ラーニング株式会社 ※審査委員長

加藤 憲治 : LIC/デジタルラーニング・コンソーシアム

鎌田 純子 : 株式会社ボイジャー

小橋 岳史 : 株式会社日立製作所

中嶋 竜一 : 株式会社デジタル・ナレッジ

長瀬 昭彦 : 株式会社 WARK

橋本 賢一 : 株式会社富士通ラーニングメディア

■実行委員

川口 泰司 : LIC/サイコム・ブレインズ株式会社 ※実行委員長

青木 泰子 : LIC/株式会社イーラーニング

加藤 憲治 : LIC／デジタルラーニング・コンソーシアム
前田 宏 : LIC／株式会社ジンジャーアップ
越智 洋司 : JSiSE／近畿大学
東本 崇仁 : JSiSE／千葉工業大学
米谷 雄介 : JSiSE／香川大学

関東支部より活動報告

第5回リサーチ・コ・コ・コモンズ開催のお知らせ

担当者： 教育システム情報学会 関東支部

昨年度に引き続き、関東支部主催にて連携（collaboration）による新たな学びの共創（co-creation）を実現するためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を開催いたします。今年度も学生の皆さまに自身の研究の魅力を再発見していただくための企画です。

学外の研究者・学生との議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見して、あなたの研究をもっと伸ばしてみませんか？

開催日時：11月18日（土）11:00～18:00（予定）

場所：電気通信大学（予定／ハイブリッド）

対象：他大学の方々との交流を通じて自身の研究を見つめ直したい学生

※ 関東・東北地区以外の学生の方の参加も大歓迎です。

参加費：無料

<プログラム>

第1部：ベテラン研究者からの熱いメッセージ

第2部：魅力 Aware / Share / Deeper セッション

研究紹介

自身の研究の魅力を参加者に伝えよう

伝え方は自由（PowerPoint・ポスター・口頭のみ）中間発表などで使ったものを流用してもOK！

参加者とのディスカッション

学外の研究者・学生との建設的な議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見しよう

発表募集は10月下旬から行う予定です。

次号のニューズレターで詳しくお知らせ致します。

東海支部より活動報告

担当者： 支部長：吉根勝美（南山大）
副支部長：稲垣 宏（豊田高専）、野崎浩成（愛知教育大）
研究会幹事：津森伸一（聖隷クリストファー大）

JSiSE 東海支部は、2023 年 5 月に、以下の通り、総会・研究会を開催しましたので、ご報告します。

教育システム情報学会東海支部 2023 年 5 月度総会・研究会

1. 日時 2023 年 5 月 20 日（土） 13:00～17:00

2. 会場 名古屋都市センター 第 3 会議室

名古屋市中区金山町一丁目 1 番 1 号 金山南ビル内 （JR・名鉄・地下鉄「金山」駅南口すぐ）

3. プログラム （コーディネータ：津森 伸一（聖隷クリストファー大学）研究会幹事）

13:00～13:30 JSiSE 東海支部 役員会・総会（30 分）（議長：支部長・副支部長）

13:40～14:40 講演（60 分）

「津波や太陽光シミュレーションが可能な 3 次元建物モデルの自動生成」

杉原 健一（元岐阜協立大学教授）

14:45～16:50 研究発表

(1) 14:45～15:05（20 分）

「幼児教育における ICT 活用ー保育 IoT 教材へ」

神谷 勇毅（岐阜市立女子短期大学）

(2) 15:05～15:25（20 分）

「Implementation of information communications technology in primary
and secondly schools -Current status of education in Malawi」

Benjamin Maurice (Teacher training students, Aichi Univ. of Education)

(3) 15:30～15:50（20 分）

「中国における大学入試で日本語を選択するメリットとデメリット
ー2022 年遼寧省の結果をもとに」

韓 帥（愛知教育大学大学院）

(4) 15:50～16:45（55 分）

「学校における情報教育を活用した戦略的学習力の育成の試み」

太田 重和（愛知教育大学大学院）



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円（定例研究会年 6 回，特集研究会 1 回，計 7 回分を含む）
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

広報からのお知らせ



Web サイトがリニューアルされました

2023 年 1 月 23 日に、JSiSE の Web サイトがリニューアルされました。従来よりも見やすく、操作も分かりやすくなっています。新しくなった Web サイトをぜひご覧ください。

また、何かお気づきの点があれば、遠慮なく学会事務局までお問い合わせください。



Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

☆ 2023 年 7 月 25 日現在、フォロワー数 263 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

☆ 2023 年 7 月 25 日現在、いいね 539 件、587 人フォロー

Twitter, Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局（secretariat@jsise.org）までお問い合わせください。



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

協賛「情報教育シンポジウム SSS2023」

日時：2023 年 8 月 18 日(金)～20 日(日)

会場：工学院大学新宿キャンパス（東京都新宿区）

協賛「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2023」

日時：2023 年 9 月 6 日(水) から 8 日(金)

会場：青山学院大学 相模原キャンパス

連携依頼「日本心理学会第 87 回大会における公募シンポジウム」

日時：2023 年 9 月 15 日～17 日

会場：神戸国際会議場（一部ハイブリッド）

後援「オンラインラーニングフォーラム 2023」

日時：2023 年 11 月 1 日（水）～2 日（木）および 7 日（火）～10 日（金）

会場：オンライン開催

協賛「第 25 回日本感性工学会大会」

日時：2023 年 11 月 20 日（月）～22 日（水）

会場：タワーホール船堀（東京都江戸川区）

後援「国際会議 ICCE2023」

日時：2023 年 12 月 4 日（月）～8 日（金）

会場：くにびきメッセ国際会議場（島根県松江市）



国際会議のご案内

- 2023 年 10 月開催

EDUCAUSE 2023

開催期間 : October 9-12, 2023

開催地 : Chicago, Illinois

開催期間 : October 18-19, 2023

開催地 : Online

URL: <https://events.educause.edu/annual-conference>

投稿締切 : April 17, 2023

- 2023 年 11 月開催

2023 Open Education Conference

開催期間 : November 7-9, 2023

開催地 : Online

URL: <https://openeducationconference.org/2023/>

投稿締切 : April 17, 2023

- 2023 年 12 月開催

ICCE2023: The 31st International Conference on Computers in Education

開催期間 : December 4-8, 2023

開催地 : Matsue, Shimane

URL: <https://eds.let.media.kyoto-u.ac.jp/ICCE2023/>

投稿締切 : May 1, 2023

- 2024 年 1 月開催

The 22nd Annual Hawaii International Conference on Education

開催期間 : January 3-6, 2024

開催地 : Waikoloa, Hawaii

URL: <https://hiceducation.org>

投稿締切 : August 7, 2023



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。（2023 年 5 月 25 日～2023 年 7 月 21 日）

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
福本 愛実	学生会員	中村 航平	学生会員
布江田 友理	正会員	川崎 満広	学生会員
田仲 浩平	正会員	城間 政司	正会員
吉田 祐也	正会員（購読）	若林 隆久	正会員
片山 統裕	正会員	丸山 雄太	正会員
吉村 有弘	学生会員	加藤 嘉浩	正会員（購読）
川口 悠斗	学生会員	河原 弘幸	正会員
濱田 勇	学生会員	徳永 恵理子	学生会員
小代 翔大	学生会員	杉田 一樹	学生会員
古川 雅子	正会員	深町 賢一	正会員
岑 駿之介	学生会員	古池 謙人	正会員
齋藤 稔代	正会員（購読）	山口 琢	正会員
古堅 裕章	正会員（購読）	矢野 浩二郎	正会員
森川 一	正会員（購読）	藤田 遼太郎	学生会員
許 嘉瑜	学生会員		

（計 29 名）